

# グリーンたいむ



発行: グリーンコープ生活協同組合くまもと  
<https://greencoop-kumamoto.jp/>



## 2025年度スタート!

6月6日(金)に開催したグリーンコープ生協くまもと第二十五期通常総代会を経て、2025年度がスタートしました。理事長、ワーカーズ常勤理事会代表、専務理事よりメッセージをお届けします。



グリーンコープ  
生協くまもと  
理事長  
小林 香織

「2027カーボンニュートラル」の取り組みにつきまして、多くの方にご理解とご協力をいただきましたこと、心よりお礼申し上げます。これからも、みどりの地球をみどりのままに子どもたちに手渡せるように取り組んでまいります。

今年7月は令和2年7月豪雨から5年、2026年4月は熊本地震から10年になります。復興の歩みを振り返り、あの災害の経験を次の世代にも引き継げるような集会を開催したいと思っています。

今年度も、さまざまな取り組みをご案内いたします。皆様のご参加を理事・委員一同お待ちしております。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。



くまもとワーカーズ  
常勤理事会  
代表  
石原 嘉美

2025年度は、「2027カーボンニュートラル」が本格的に始まる年になります。

カーボンニュートラルについては、身近に感じ、そして今を生きる私たちが次世代につながる行動が求められるようになります。「この問題『無関係』ではないけれど、『無関係』ではない」という言葉に、私は共感しています。このことをたくさんの方に伝えていきたいと思っています。

そして「グリーンコープミルクびん牛乳工場」「TMRセンター」「耶馬溪ファーム」のことも、たくさんの方に知っていただき、グリーンコープのびん牛乳をたくさんの方々に飲んでいただきたいと思います。



グリーンコープ  
生協くまもと  
専務理事  
上村 猛

第二十五期通常総代会が終了し、全議案、可決承認いただきました。本当に、ありがとうございます。

単協総代の皆さんからさまざまなご意見、ご感想をいただき、身の引き締まる思いです。2025年度も引き続き、専務理事の役割を仰せつかりました。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、2025年度は引き続き「2027カーボンニュートラル」「共生・循環型酪農プロジェクト」と大きなグリーンコープ運動が具体的に展開されていきます。

詳細につきましては、「グリーンたいむ」などの機関紙にてご報告させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

### もくじ

1: 2025年度スタート! / 2: 東地域本部地域総代会報告 / 3: 西地域本部地域総代会報告 / 4~5: 第二十五期通常総代会報告 / 6: 令和2年7月豪雨災害支援活動報告 / 7: わたしとグリーンコープ、こんにちは! ワーカーズです、2027カーボンニュートラル / 8: みんなのひろば、グリーンコープでんき関連、電話コーナー、リユース・リサイクル状況、編集者だより

グリーンコープ |

グリーンコープは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



© 2010 くまモン





## 第1部 地域総代会

総代定数および出席人数…定数154、出席46、委任状98

提案された議案すべてが可決されました。

地域本部および各委員会からの報告を抜粋して紹介します。



森田弓沙地域理事長

【地域委員会】6人の地域委員長より活動報告  
【商品おすすめ委員会】食べもの運動の象徴である産直びん牛乳、りんご・みかん、米の学習会で、定期予約や早期予約の大切さの確認ができ、利用普及の大切さを学びました。これから、委員会メンバーが自分の言葉で伝えられるよう、学習会や視察を通して、利用普及に取り組んでいきたいです。

【福祉委員会】地域福祉について学習や意見交換することで福祉についての課題を知り、「ふくしだより」を発行することで委員会の取り組みを組合員に知らせることができました。



【環境委員会】せっけん運動、4R運動などは世界の平和にも密接につながっています。環境委員会として担う運動を多くの人に広め取り組むことで、大きな力になると思います。

【地域本部】2024年度は、地域委員会や地区でもたくさん取り組みを行いました。参加してくださった方からは「楽しかった」「ためになった」と言っていただけでなく、グリーンコープについて、しっかりと伝えられたのではないかと思います。地域本部のまつりも、今までは趣向を変え、お買い物するだけではなく、グリーンコープの商品のことをしっかりと知って、納得してもらえるところになりました。

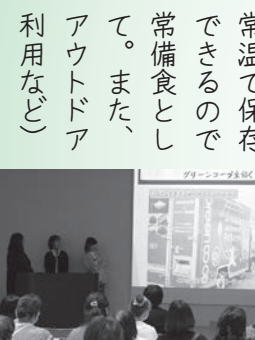
【質疑応答】一部分を紹介します。  
Q、「ゆるりの家」や、「げんきもりもりハウス」は、組合員のみが利用していますか？  
A、組合員とは限らず、幅広く利用されています。  
Q、石川県の支援には何日間ぐらい行かれたのでしょうか？  
A、東地域本部から2泊で行きましたが、常駐が1人いて、ホームページやInstagramで支援活動の様子が分かるようになっていきます。カンパへの協力も継続してお願いしています。

【地域理事長挨拶】  
地域理事長も、2025年度で5年目となります。地域理事会のメンバーをはじめ、地区の委員さんや地域の組合員さんと共に楽しく活動を行っていききたいと思っています。  
さて、私は毎年ここで地域本部のテーマを発表していますが、今年度はどうしようかとずっと考えていました。ちなみに今年の干支は巳年、乙巳（きのとみ）という年で、これまでの努力や準備が実を結び始める年だと言われているそうです。  
今年度は新しい牛乳工場が稼働し始め、グリーンコープの牛乳が新しく生まれ変わりました。また、5月からカーボンニュートラルの取り組みも本格的に始まります。この数年間は、牛乳とカーボンニュートラルのことについて理事会などでもたくさん意見交換し、いろいろなことを一つずつ決めてきました。それらのことが、まさに実を結ぶ年になるということなんだと思います。  
昨年の「変化を楽しむ」から一歩前進し、「飛躍・発信」できる年にできたらと思います。  
まずので、皆さんのご協力とご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。



株元知子地域理事長

【地域委員会】2022年に2地域本部制になって以降行っていたハイブリッド開催を終了し、本部会議室にて地域理事会を開催することで、しっかりと時間を取って十分に議論ができるようになりました。2023年度より一時ストップしていた、みんなの居場所プロジェクトを立ち上げ、居場所の視察や立ち上げまでの話を聞くことを主な活動としました。その他、理事会として、料理交流会や産直交流を行いました。天草地域委員会から出された「天草に準地区を作りたい」との夢を、西地域本部全体の夢と位置づけ、上天草でのまつり開催を検討しましたが、台風のため2024年度内の開催はできず、2025年度4月の開催となりました。



【地域本部】2022年に2地域本部制になって以降行っていたハイブリッド開催を終了し、本部会議室にて地域理事会を開催することで、しっかりと時間を取って十分に議論ができるようになりました。2023年度より一時ストップしていた、みんなの居場所プロジェクトを立ち上げ、居場所の視察や立ち上げまでの話を聞くことを主な活動としました。その他、理事会として、料理交流会や産直交流を行いました。天草地域委員会から出された「天草に準地区を作りたい」との夢を、西地域本部全体の夢と位置づけ、上天草でのまつり開催を検討しましたが、台風のため2024年度内の開催はできず、2025年度4月の開催となりました。

## 第2部 グリーンコープのこれからについて

【質疑応答】一部分を紹介します。  
Q、産直びん牛乳のことだが、大分との交流ができるのはありがたいが、菊池でできなくなったことの理由を知りたい。  
A、雪印メグミルクで製造してもらっていたが工場の老朽化もあり製造できないと言われた。同時にびんも作れないということになり新しいところを探した。「TMRセリファーム」と、「新しい産直」が実現できる下郷農協と手をつなぐことになった。  
Q、「共生の時代」1月号に詳しい経過が書かれていて今の説明もあったが、1億5千万円の被害が発生したということで、供給停止も驚いたが被害額の大きさに驚いた。周りには80歳代の方がたくさんおられる。これから超高齢社会なのに供給していないという責任は大きいと思う。猛省していただきたい。二度と商品供給ができなくなるような事態にならないようにしてほしい。  
A、現在グリーンコープの職員もグリーンコープミルクびん牛乳工場に常駐して正規の牛乳が届けられるように努力している。部長がきちんと「報・連・相」ができるように組織の再編に取り組んでいる。見守ってほしい。  
誇れるびん牛乳を作っていきたいと思っている。今後も状況について報告していきたい。

【地域委員会】2022年に2地域本部制になって以降行っていたハイブリッド開催を終了し、本部会議室にて地域理事会を開催することで、しっかりと時間を取って十分に議論ができるようになりました。2023年度より一時ストップしていた、みんなの居場所プロジェクトを立ち上げ、居場所の視察や立ち上げまでの話を聞くことを主な活動としました。その他、理事会として、料理交流会や産直交流を行いました。天草地域委員会から出された「天草に準地区を作りたい」との夢を、西地域本部全体の夢と位置づけ、上天草でのまつり開催を検討しましたが、台風のため2024年度内の開催はできず、2025年度4月の開催となりました。



【地域本部】2022年に2地域本部制になって以降行っていたハイブリッド開催を終了し、本部会議室にて地域理事会を開催することで、しっかりと時間を取って十分に議論ができるようになりました。2023年度より一時ストップしていた、みんなの居場所プロジェクトを立ち上げ、居場所の視察や立ち上げまでの話を聞くことを主な活動としました。その他、理事会として、料理交流会や産直交流を行いました。天草地域委員会から出された「天草に準地区を作りたい」との夢を、西地域本部全体の夢と位置づけ、上天草でのまつり開催を検討しましたが、台風のため2024年度内の開催はできず、2025年度4月の開催となりました。



## 第1部 地域総代会

総代定数および出席人数…定数110、出席32、委任状65

提案された議案すべてが可決されました。

地域本部および各活動委員会からの報告を抜粋して紹介します。



【地域本部】2024年度は、地域委員会や地区でもたくさん取り組みを行いました。参加してくださった方からは「楽しかった」「ためになった」と言っていただけでなく、グリーンコープについて、しっかりと伝えられたのではないかと思います。地域本部のまつりも、今までは趣向を変え、お買い物するだけではなく、グリーンコープの商品のことをしっかりと知って、納得してもらえるところになりました。

【商品おすすめ活動委員会】希望の離乳食が登場し、仲間づくりの強い味方が増えました。びん牛乳をはじめ、私たち組合員が「欲しい」と願い生まれた商品の数々を次の世代へと渡すために、組合員の継続した利用はとても大切です。活動委員一人ひとりが、その思いを地域に伝えていきます。

【福祉活動委員会】「住んでる街を、住みたい街に」していくために、行政では手が届かない部分まで垣根を越えて取り組む中で、初めて知る情報などがありました。その度に活動委員会で学びを深めていきました。

【環境活動委員会】活動委員が自分の言葉で伝えることを大切にしました。一見、別々のように感じる運動も根底ではつながっているということ、委員会活動を通して何よりも深く感じることができました。

【質疑応答】一部分を紹介します。

Q、「ゆるりの家」や、「げんきもりもりハウス」は、組合員のみが利用していますか？  
A、組合員とは限らず、幅広く利用されています。  
Q、石川県の支援には何日間ぐらい行かれたのでしょうか？  
A、東地域本部から2泊で行きましたが、常駐が1人いて、ホームページやInstagramで支援活動の様子が分かるようになっていきます。カンパへの協力も継続してお願いしています。

【地域委員会】2022年に2地域本部制になって以降行っていたハイブリッド開催を終了し、本部会議室にて地域理事会を開催することで、しっかりと時間を取って十分に議論ができるようになりました。2023年度より一時ストップしていた、みんなの居場所プロジェクトを立ち上げ、居場所の視察や立ち上げまでの話を聞くことを主な活動としました。その他、理事会として、料理交流会や産直交流を行いました。天草地域委員会から出された「天草に準地区を作りたい」との夢を、西地域本部全体の夢と位置づけ、上天草でのまつり開催を検討しましたが、台風のため2024年度内の開催はできず、2025年度4月の開催となりました。



株元知子地域理事長

【地域委員会】2022年に2地域本部制になって以降行っていたハイブリッド開催を終了し、本部会議室にて地域理事会を開催することで、しっかりと時間を取って十分に議論ができるようになりました。2023年度より一時ストップしていた、みんなの居場所プロジェクトを立ち上げ、居場所の視察や立ち上げまでの話を聞くことを主な活動としました。その他、理事会として、料理交流会や産直交流を行いました。天草地域委員会から出された「天草に準地区を作りたい」との夢を、西地域本部全体の夢と位置づけ、上天草でのまつり開催を検討しましたが、台風のため2024年度内の開催はできず、2025年度4月の開催となりました。



【地域本部】2022年に2地域本部制になって以降行っていたハイブリッド開催を終了し、本部会議室にて地域理事会を開催することで、しっかりと時間を取って十分に議論ができるようになりました。2023年度より一時ストップしていた、みんなの居場所プロジェクトを立ち上げ、居場所の視察や立ち上げまでの話を聞くことを主な活動としました。その他、理事会として、料理交流会や産直交流を行いました。天草地域委員会から出された「天草に準地区を作りたい」との夢を、西地域本部全体の夢と位置づけ、上天草でのまつり開催を検討しましたが、台風のため2024年度内の開催はできず、2025年度4月の開催となりました。





# 地球温暖化・気候危機などの課題に対して、また、すべてのいのちの生命を守るため「2027カーボンニュートラル」を推進していきましょう

グリーンコープ生活協同組合くまもと 第二十五期通常総代会開催 6月6日(金) くまもと森都心プラザ



## ◆2024年度活動報告について◆

2025年3月に、グリーンコープまつり「にこつと3・9フェスティバル」を、離乳食、拡大（仲間づくり）、カーボンニュートラルという3つのテーマを掲げて開催しました。離乳食の試食には多くの申し込みがあり、長い列ができるほどでした。事前に、加入の説明を聞きたい方の予約を受け付け、まつり当日だけで30人以上の方が加入されました。カーボンニュートラルについては、クイズや自転車・手回しでの発電実験を行いました。初めて企画した「赤ちゃんはいはいレース」も大盛況でした。熊本地震からの復興の象徴である「産直れんこん入り生ハンバーグ」が登場して5年目を迎えるのを機に、利用普及に取り組みました。決起集会を行い、関係者一丸となって取り組み、供給目標数を大きく上回って達成することができました。この経験を、今後の利用普及やグリーンコープ運動を広げる活動に活かしていきます。



グリーンコープ生活協同組合くまもと理事長 小林香織さん  
に、お話を聞いたメンバーの時間を設けるなど、趣向を凝らしました。



## ◆2025年度活動計画について◆

よりよい組合員活動ができるよう、地域化について検討をすすめます。カーボンニュートラルをすすめていくための財源拠出の呼びかけが始まります。カーボンニュートラルの取り組みがグリーンコープ運動の集大成と呼ばれるのは、食べもの運動、環境への取り組み、平和、地域福祉、すべてにつながっているからです。そして何より、地球を守る、すなわちすべての生命（いのち）を守る取り組みです。みどりの地球をみどりのままで子どもたちに手渡すために、地域組合員の共感を得ながら、組合員、ワーカーズ、職員が一つになって力強くすすめます。

## ◆2024年度事業報告について◆



配送共同購入事業高は 予算比99・9%で終了。組合員拡大に関しては予算に対して達成率は69・7%。地域からの問い合わせが減少したこと、現場を担う配達担当者が減少し拡大が厳しい結果となりましたが、組合員、ワーカーズ、職員の力を結集し、3,380人の新たな組合員を迎えることができたことは、評価できると考えます。また、お店共同購入事業は全体的に好調で推移しました。

## ◆質疑応答より◆

Q. EV車の問題点として、EV化のためにレアメタルの採掘がアジアやアメリカで行われ、現地の環境破壊や人権侵害などがあります。グリーンコープの配送用トラックなどのEV化はできればやめてもらいたいです。

A. 同様の質問に対する応答は、2023年に「カーボンニュートラルQ&A」として届けています。組合員がどう考えるかについては、グリーンコープ共同体で確認されたことで、今動き出していることに對して、間違っているかどうかではなく、どうすすめていくのかを考えてほしいと思います。温暖化についても諸説ある中、グリーンコープとして選んだ方向で行っています。食べもの運動と同じで、「草分け」の取り組みをしていくことが大切だと思います。

Q. EV車はパソコンや携帯電話と比較してバッテリーなどの規模は桁違いです。また、グリーンコープの理念であるアジアとの連帯に反すると思います。※IPCCの資料だ

※IPCC：気候変動に関する政府間パネル

けではなくもつと検証する必要があると思います。

A. カーボンニュートラルの取り組みについて確定する前に、なぜその話が出てこなかったのでしょうか。また、すでに話し合って確認されている内容も多いようです。今、グリーンコープがどうにかしないといけないことに、グリーンコープとしてしっかり取り組んでいかなければならないと考えています。地域組合員総会の資料では偏って見えるかもしれませんが、さまざまな方のお話を聞くなど、学習会を重ねてきていることはお伝えしたいと思っています。

Q. カーボンニュートラルをすすめるための財源拠出について、一律に1%を拠出するのではなく、賛成する人が注文書で寄付する形にしてはいいかがでしょうか。

A. まずは、組合員が混乱しないよう、1%の拠出を行いたいと思います。その後、「もつとしたい」「1%はできないが少しなら」という方のために、注文書で募ることを検討しています。

- 〈特別報告〉
- \* 託送料金訴訟について、第二審の結果と今後のすすめ方を報告。
  - \* 新びん牛乳工場について、稼働する様子を動画を用いて紹介。利用普及を呼びかけた。
  - \* 2027カーボンニュートラルについて、インドネシアの現状を紹介。くまもとでの取り組みの進捗状況を報告。

採 決				
総代定数 260、本人出席 142、委任出席 118				
議 案		賛成	保留	反対
第1号議案	2024年度事業（活動）報告及び決算報告承認の件	多数	13	2
第2号議案	2025年度事業（活動）計画・予算案承認の件	多数	27	10
第3号議案	2025年度福祉活動組合員基金運用委員会委員選任の件	多数	0	0
第4号議案	2025年度役員・選挙人選出の件	多数	3	0
第5号議案	長期未利用組合員脱退承認の件	多数	1	0
第6号議案	議案効力発生の件	多数	1	0

提案された議案は、すべて賛成多数で可決されました。

## ◆2025年度事業計画について◆

事業予算9,041,593千円を達成します。まずは、組合員拡大をしっかりすすめます。一番の利用普及は、商品を利用する組合員を増やすことです。そのことが、活動組合員（委員）を増やすことにもつながると思います。

2026年4月に、熊本地震から10年を迎えます。多くの方が心を痛め、悲しみ、先が見えない不安に包まれたことだと思います。できれば経験したくなかったことですが、熊本地震を経験をしたことで、たくさんの方々のあたたかさや優しさに触れました。人と人とのつながりの大切さや、そこから生まれる助け合いやお互い様という経験は、くまもとにとって大きな力になっています。これまでの支援やつながりに感謝を伝える、10年後集会を開催したいと思っています。



## 令和2年7月豪雨 災害支援活動報告

2020年7月4日(土)未明から降り続いた大雨の影響で、熊本県南部を中心に各地で土砂崩れが発生。また、1級河川の球磨川が上流から下流までほぼ全域で氾濫し、球磨村や芦北町、人吉市、八代市の広域で被害が発生しました。グリーンコープは発災直後から支援活動を続け、5年後になる現在は、ワーカーズコレクティブ ヒトハレのメンバーが、「元気カー」による見守りを兼ねた買い物支援を行っています。5月からは、球磨村からの要請により配達エリアも増やし、地域になくてはならない存在となっています。ヒトハレ代表の御園豊子さんに現在の様子をご報告いただきました。

今年3月、球磨村での移動販売を担っていた業者の1社が撤退するという話を、「元気カー」のワーカーが利用者さんから聞いてきました。住民の皆さんが不安に思われているということを知り、グリーンコープ生協くまもと本部に相談してみたところ「ヒトハレの体力で可能な範囲なら販売箇所を増やすのはかまわない」という返事をいただきました。

球磨村との協議は4月末に行われ、球磨村としても、決して良い条件とはいえない移動販売を引き継いでもらえるのか不安に思われていたようでした。しかし、ヒトハレとしては、「グリーンコープからは前向きな返事をもらっている」ということを伝えることができたため、先方も安心され話をスムーズに進めることができました。協議の結果、移動販売の空白地区になってしまう4地区を、ヒトハレともう1社で分け合って引き継ぐという話がまとまりました。

5月20日(火)から販売を始める大坂間地区には、事前にポスティングに伺ったところ、キープの組合員さんが住んでおられ「地区の人に話もしてチラシも渡しておく」と言ってくださり、販売初日はたくさんの方が集まってくださいました。以前の業者さんからは1軒ずつ回る必要があると聞いていたのですが、地区内の2ヶ所に集まってくださるように組合員さんが話をまとめてくださっていました。「ここまで来てくれるのはグリーンコープくらいたい」と言っただき、約2ヶ月間移動販売なしで生活されていただけに、とても歓迎されていることが感じられました。

木曜日に販売を行うことになった沢見地区は、往復すると1時間くらいはかかってしまう、かなり険しいルートですが、その途中にある浦野地区も「どうせ通るのだから販売に寄ってみたらどうか」とワーカーからの提案もあり、球磨村に相談したところ「ぜひお願いしたい」ということで寄ることになりました。大坂間の帰りにも新たにご希望のあった向淋地区にも立ち寄るようになり、一気に4ヶ所

販売地区が増えました。  
豪雨災害からは5年が経ちますが、さまざまな事情で移動販売を必要とされている方は「まだまだいるんだ」ということが今回わかり、この活動を続けられていることの意義も感じることができました。



▲木曜日に訪問し始めた地区での販売の様子▶



## わたしとグリーンコープ



西地域本部  
鹿本地域委員会  
山鹿地区運営委員会  
委員長  
下田 佳子

### 「グリーンコープ商品の 美味しさ」

グリーンコープとの出会いは、1人目が生まれて、離乳食の頃に「赤ちゃんすくすく個性」を知ったことです。「安心・安全で美味しいものを子どもに食べさせたい」と思い、それから食について考える時間になりました。

それまで添加物など全く気にしていなかった私には、活動委員として学ぶことで初めて知ることがたくさんあり、楽しい時間になりました。活動の時は子ども



の託児もあり助かりました。  
グリーンコープの商品のこと、生産者さんのこと、たくさんの方に知ってもらいたいです。

## こんにちは！ワーカーズです

### 企業組合 ワーカーズ・マミー



荒尾店 店長  
竹谷 幸

私がグリーンコープと出会ったのは、今から30年以上前になります。当時、自宅のポストにカタログとお手紙が投函されており、食に興味があった母と私で申し込みをしたのがきっかけです。わくわくした気持ちで注文を増やし、毎週楽しみにしてありました。

その後、結婚し子どもが生まれ、「この子には美味しくて安心・安全な食品を食べさせたい」という気持ちで、近所の友人と班配達を始めました。毎週、ノンホモ牛乳を3本、10個入りの卵を2パック、あらびきウインナー徳用を1袋の注文を欠かさず、配送の車を楽しみに待っていました。

その後、グリーンコープのお店で働き出し、組合員の方々と出会い、商品をおすすめし、今に至っています。多くの方に励まされ、幸せを実感し、この気持ち広がるよう頑張りたいと思います。

## 2027カーボンニュートラル

### 今、私たちにできることを全力で取り組みたい

グリーンコープのカーボンニュートラルは、2027年までに車両から排出するCO<sub>2</sub>を2021年比で約85%削減、また、輸送時に専用保冷箱や蓄冷剤を採用することでドライアイスの使用を極力減らし、その排出量を削減します。それでも減らせない分は、植林など森林による吸収によって排出量ゼロを目指すこととしています。東地域本部（東部・北部センター）では、今年度内に遠隔地を除く全車両をEV車に切り替える準備を現在進めています。組合員の皆さんもグリーンコープ商品を利用することで、また、袋やびんなどのリユース・リサイクルを通して、既にこのカーボンニュートラルに参加をしています。グリーンコープは現在の地球温暖化という課題に対して、一人ひとりの力は小さいけれど「今、私たちにできることを全力で取り組みたい」と考えており、みんなでこの課題に取り組むことで社会を、そして未来を変える力にもなると私は信じています。

東地域本部 地域専務 岩間 睦幸





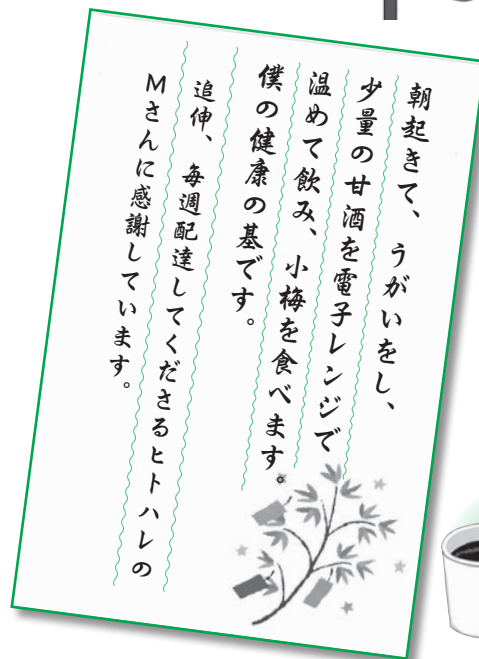
# みんなのひろば

2通のおたよりが届きました♪



8ヶ月頃の孫が離乳食を食べているところです。  
**BabyGreen** の、「産直野菜 de まるっとキューブ (赤)・(白)・(黄緑)」と、「有機簡単おかゆ ぱぱっと白米」を、残さずきれいに食べました。孫の母親(娘)は、「自分で作った離乳食よりよく食べる」と話していました。

ペンネーム：宇城市のぱーぱ



人吉市 吉岡弘晴さん(89歳)



**グリーンコープでんき**

グリーンコープ生協  
くまもとの状況(6月)

グリーン電力出資金 6月26日現在 130,956,000円

「グリーンコープでんき」申込状況 6月26日現在 825件

お申し込みは↓

お気軽に  
お電話ください♡  
待ってまーす!

## もしもし♪ 電話コーナー



<p>お金の問題、相談できます。</p> <p><b>生活再生相談室</b></p> <p>月～金/8時30分～17時30分(上天草は17時15分)</p> <p>第1・3土/9時～12時</p> <p><b>熊本相談室</b> ☎096-243-2100</p> <p><b>八代相談室</b> ☎0965-45-5133</p> <p><b>上天草相談室(土曜日は休み)</b> ☎0969-24-8330</p>	<p>生活まるごとなんでも相談できます。</p> <p><b>ふくし情報でんわ</b></p> <p>ごようは ふくし フリーダイヤル ☎0120-540-294</p> <p>携帯電話からは ☎096-337-7226</p> <p>月～金/10時～16時 ※祝日は休み</p>	<p>24時間受付・年中無休</p> <p><b>グリーンコープ 葬祭サービス</b></p> <p>☎0120-222-782 フリーダイヤル</p> <p>「自然庵」との協働事業です。葬儀だけでなく、相続問題やお墓、供養、法事についての相談なども受け付けています。</p>	<p>昼や夜の張り替え、引っ越しなど、お気軽にお問い合わせください。</p> <p><b>生活情報誌</b></p> <p><b>くらしアップ くまもと</b></p> <p>ホームページ▲ ☎0120-518-141 フリーダイヤル</p> <p>月～金/9時～17時30分 窓口：グリーンコープレインボー</p>
---	--	--	--

編集者だよ  

 席で鑑賞できた！なんと最前列のギタリストの真ん前！ドラムス以外のメンバーが入れ代わり立ち代わり、仰け反ってしまふほど近くまで来てくれた。全18曲のセットリストに、最も好きな五指に入る曲が3曲も入っていて、感涙に次ぐ感涙だった(眼鏡の内側に涙の飛沫が点々と...)。  
 これまで積んできた徳を一挙に払い戻した気分だ。また一から精進する。  
 (磯川)

**発行 グリーンコープ生活協同組合くまもと**

発行責任/理事会 編集/広報室 発行所/〒860-0056 熊本市西区新土河原2丁目1-1 ☎ 096-324-8118(代) FAX 096-324-8123 印刷所/ホープ印刷株	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>■東地域本部 25,776人</p> <p>■西地域本部 37,712人</p> <p>合計 63,488人</p> </div> <div> <p>(6月24日現在店舗組合員を含む)</p> </div> </div>
---	--

**グリーンコープ生協くまもと リユース・リサイクル状況(5月分)**

<p><b>牛乳びん 回収率</b></p> <p>牛乳びんは集計を休止しています</p> <p><b>リユースびん 回収率</b></p> <p>100.7%</p> <p><b>仕分け袋 回収率</b></p> <p>25.02%</p>	<p><b>カタログ 回収率</b></p> <p>73.9%</p> <p><b>リサイクルトレイ 回収率</b></p> <p>69.2%</p> <p><b>モールドバック 回収率</b></p> <p>86.0%</p>
---	--

※グリーンコープ全体の回収率

グリーンコープ生協くまもとのホームページ (<https://greencoop-kumamoto.jp/>) に最新情報更新中！  
 ぜひアクセスしてください。携帯電話は、こちらの二次元コードよりアクセスできます。→

